

3

1 **答え 118mm**

いくつかの数量を、等しい大きさになるようにならしたものを、平均といいます。平均は、次の式で求められます。 $\text{平均} = \text{合計} \div \text{個数}$

まず、1年間の降水量の合計を求めます。

1月から10月までの降水量の平均が127.8mm

11月が70mm, 12月が68mmなので

$$127.8 \times 10 + 70 + 68 = 1416$$

それを、12で割って平均を求めます。 $1416 \div 12 = 118$

一つの式で表すと

$$(127.8 \times 10 + 70 + 68) \div 12 = 118 \text{ となります。}$$

<注意>
127.8 と $(70+68) \div 2$ の2つの値で平均を出すことはできません。

2 **答え およそ 41.7%**

割合は、次の式で求められます。
 $\text{割合} = \text{比べられる量} \div \text{もとにする量}$

比べられる量は、平均よりも降水量が多かった月の数

もとにする量は、1年間の月数なので12となります。

平均よりも降水量が多かったのは、3月, 6月, 7月, 8月, 10月の5つの月です。

計算すると $5 \div 12 \times 100 = 41.666 \dots$ と6が続いて割り切れません。

「小数第1位までのがい数」なので小数第2位を四捨五入して 41.7 となります。